

第九次中期経営計画の 目標修正について

株式会社 栃木銀行

- 海外経済の成長を背景に国内景気も緩やかな回復基調が続いているものの、先行きの不透明感が根強く、景気回復の実感には乏しい状況にあります。
- 一方、長引く低金利環境の下で利息収入の減少が続くなど、地域金融機関を取り巻く環境は一段と厳しさを増しております。
- こうしたことを踏まえ、第九次中期経営計画に掲げる2019年度の当期純利益目標を「15億円以上」に修正いたします。

項目		目標
収益性指標	当期純利益(連結)	40億円以上→15億円以上
健全性指標	自己資本比率(連結)	12%台(維持)

- お客様の多様なニーズに応え、お客様が抱える課題や困りごとを解決するため、職員のスキルアップに努めるとともに、お客様との対話を重視した訪問型営業を強化してまいります。
- 営業エリアの重複を解消するとともに、来店客の減少を踏まえて店舗ネットワークを見直し、効率的な店舗運営を目指します。

これらの取組みにより、有価証券運用益に過度に頼ることなく、銀行本業の預貸金・手数料ビジネスを柱とする収益基盤をより強固なものとし、当期純利益目標15億円以上を確保します。

次期中期経営計画での飛躍に向けて、この一年で基礎固めを行います。